

議事要点

会議名称	令和3年度 第4回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和3年11月24日(水) 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	立川市役所 本庁舎 101会議室
次第	1 立川市国民健康保険の財政健全化計画及び保険料について(諮問) 2 その他
配布資料	【事前送付資料】 資料1 国民健康保険財政健全化計画期間延長案 資料2 保険料(税)の沿革 【当日配布資料】 資料3 令和4年度国民健康保険料の試算結果(東京都仮係数算定値対応版) 資料4 令和4年度国民健康保険料の試算結果 ケースⅠ～ケースⅣの説明
出席者	[委員] 被保険者代表(5名) 桑原 孝 田尻 隆子 中島 恵美 長谷川 佳代子 山田 廣幸 保険医及び保険薬剤師代表(5名) 五十嵐 弥生 多森 芳樹 平田 俊吉 森谷 健一 嵐 沙誉子 公益代表(5名) 江口 元気 大石 ふみお 若木 早苗 黒川 重夫 坂本 鉄也 被用者保険等保険者代表(1名) 澤口 賢一 [事務局] 副市長 田中 良明 保健医療担当部長 吉田 正子 財政課長 佐藤 岳之 保険年金課長 森田 雅代 健康づくり担当課長 田村 信行 保険年金課業務係長 横田 昌彦 保険年金課医療給付係長 仁尾 弘一 保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 横小路 優香
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人

<p>会議結果</p>	<p>1 立川市国民健康保険の財政健全化計画及び保険料について（諮問）</p> <p>立川市国民健康保険の保険料について市長より諮問がなされ、今後議論を行い、令和4年1月17日に答申を行う。</p> <p>立川市では昨年度のコロナ禍を受け、令和2年度・令和3年度の保険料率を31年度水準に据え置いた。また、令和2年度において国が賦課限度額を99万円に引き上げたため、現在政令との乖離が3万円分生じている。令和3年度には賦課限度額が102万円となり、さらに乖離が大きくなる。保険料率・賦課限度額共に令和4年度以降どのように設定・解除して行くのが望ましいのか。</p> <p>また、昨年本協議会で見直しを行ったうえで提出した財政健全化計画に国から指摘が入ったため、これについても再度の計画修正が必要になっている。</p> <p>以上のことを審議するため、財政健全化計画期間延長案を4つ提案した。</p> <p>コロナ禍で職を失ったため国民健康保険に加入している人は多いのではないかと。そのように生活が苦しい人もいる。市の経済状況なども併せて見解を聞きたいとの質問。全体的に被保険者数は減少傾向にあり、急激に加入数が増えているわけではない。ただし、所得階層を見ると高所得階層の世帯数は減少しており、下の階層にスライドしている印象を受けると回答。</p> <p>示した資料中の計画案について見解を聞きたいという質問。必ずこの形に沿うという案ではなく、議論のイメージを持ってもらいたいために配布していると回答。</p> <p>資料中表の表側について過年度削減額も削減予定額とはどういうことかという質問。これについては既に実績額であると回答。</p> <p>保険料の改定をしていない年でも法定外繰入金を削減できたのはなぜかという質問。予算値よりも決算として収入の増があり、これは決算時点でないと把握できない。例年起こるものではなくあくまでも単年度特有のものであると回答。</p> <p>更に、委員より財政健全化計画、並びに保険料率の改定について意見を求めた。令和4年度保険料率については経済状況・市民の生活状況がどうなるのかわからない状況で引き上げるのはかなり難しい。また財政健全化計画についても今現在定めるのは難しいため、目標額は引き上げるが期間について決定するのは来年度の状況をみて判断したいとの意見が寄せられた。</p>
<p>担当</p>	<p>福祉保健部保険年金課 電話 042-528-4314</p>